



ComunicaTemplates

テンプレートの設置方法

テンプレートの設置方法

ここでは既に、Movable Type をサーバにインストール済みであること、Movable Type をインストールした際、同時に「最初のブログ」（デフォルトブログ名：My First Blog、テンプレートセット：既定のブログ）を作成済みであることを前提に、テンプレートの設置方法について解説していきます。

Movable Typeをまだインストールされていない方は、Movable Typeサイトのドキュメント (<http://www.movabletype.jp/documentation/>) にMovable Typeをインストールする為に必要なサーバの「動作環境」についての解説、「Movable Typeインストールガイド」がありますので、こちらを参考にMovable Typeをインストールしてください。

また、サーバ上に現行サイトがある場合は、テンプレートの設置を行う前に、自己責任で必ず現行サイトのデータをバックアップしてからテンプレートの設置を行ってください。

それではこれより、MT4.1 から利用可能になったテンプレートセット機能を利用し、テンプレートの設置方法を解説していきます。

目次

- (0) [準備](#)
 - (1) [ファイルをサーバにアップロード](#)
 - (2) [Movable Type管理画面でテンプレートセットを設置](#)
 - (3) [ブログを再構築](#)
-

(0) 準備

■ 準備1： ソフトの用意

テンプレートを設置するにあたり、ご購入後にダウンロードしていただいたテンプレート一式（圧縮ファイル）を解凍するソフト、また、解凍されたテンプレートセットをサーバにアップロードする為の FTP クライアントが必要です。

お手元のパソコン上にこれらのソフトがない場合は、以下の参考サイトよりソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。（Movable Type を既にサーバにアップロード済みの場合は、これらのソフトは既にお手元のパソコン上にインストール済みかと思えます。）

● 解凍ソフト：

Windows ユーザの場合：

- ・ Lhaplus (<http://www.vector.co.jp/soft/win95/util/se169348.html>)

Mac ユーザの場合：

- ・ Stuffit Expander (<http://www.act2.com/products/stuffit-mac-exp2009.html>)

● FTP クライアント：

Windows ユーザの場合：

- ・ FFFTP (<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>)

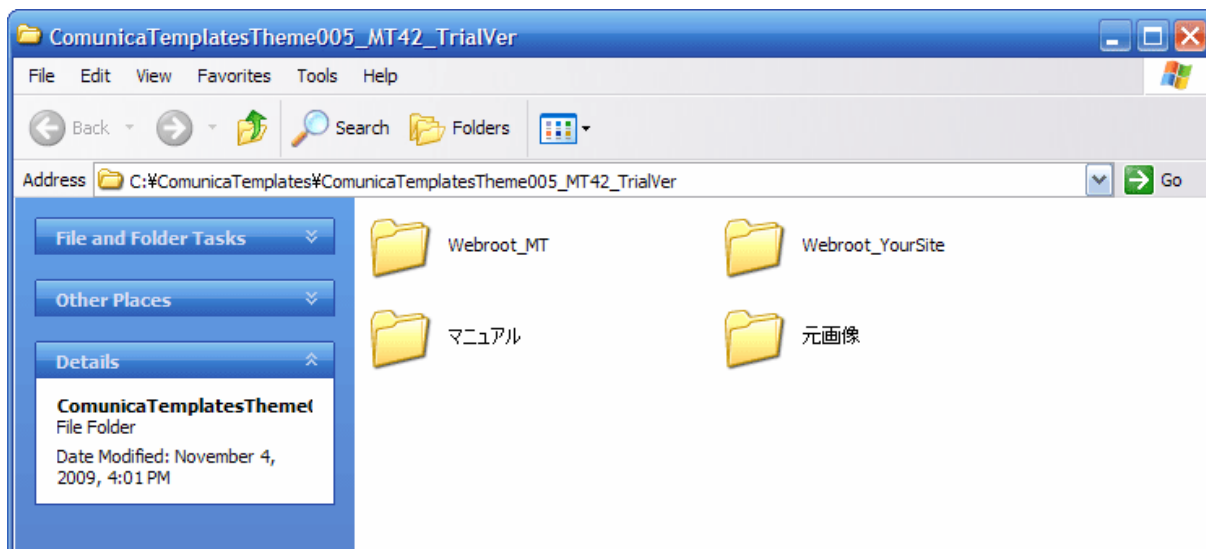
Mac ユーザの場合：

- ・ Fetch (<http://fetch.jp/>)
- ・ Cyberduck (<http://cyberduck.ch/>)

■ 準備 2 : 圧縮ファイルの解凍

ご購入後にダウンロードしていただいたテンプレートファイルは Zip に圧縮されていますので、これを「準備 1」で述べた解凍ソフトなどで解凍します。

解凍が終了し、フォルダを開くと中には、Webroot_MT、Webroot_YourSite、マニュアル、元画像、というフォルダが入っています。



それぞれのフォルダの概要は以下のとおりです。

フォルダ名	概要
Webroot_MT	Movable Type用のテンプレートセットが入っています。サーバにインストールされている Movable Type フォルダの plugins フォルダ内にアップロードします。
Webroot_YourSite	サイトの視覚表現となる CSS ファイル、画像ファイルが入っています。サイトの公開パス上にアップロードします。
マニュアル	テンプレートの設定方法、サイトの構築方法、お問い合わせフォーム用のマニュアルが入っています。
元画像	ロゴ画像やトップイメージの元画像 (PSD) が入っています。

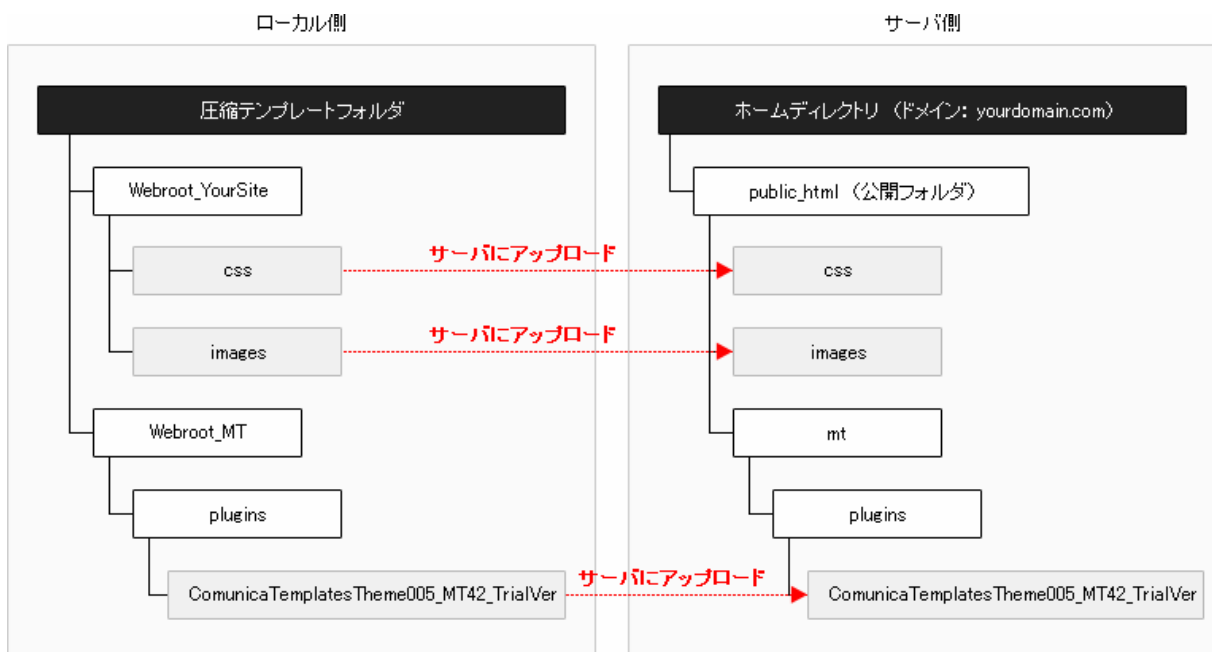
(1) ファイルをサーバにアップロード

ここでは、「準備2」で解凍してできた「Webroot_MT」と「Webroot_YourSite」内のファイルをサーバ側にアップロードしていきます。その前に、どのファイルがサーバ側のどのディレクトリにアップロードされるのかを、簡単に以下の図でご説明します。

「準備2」で解凍してできた「Webroot_MT」と「Webroot_YourSite」は、下図の「ローカル側」の「圧縮テンプレートフォルダ」以下の「Webroot_MT」と「Webroot_YourSite」にあたります。これらのフォルダ内にあるそれぞれのファイルをサーバ側の適所にアップロードします。

ここから話を進める上での前提として、ホームページのドメインは、「yourdomain.com」、そして、サーバ側の公開フォルダは、ホームディレクトリ以下にある「public_html※」とします。そして、この「public_html」以下の「mt」というフォルダに Movable Type がインストールされているものとします。

※public_html：これは、それぞれのサーバ会社の仕様によってフォルダ名が異なるかもしれません。もし公開フォルダが「public_html」フォルダでない場合は、どのフォルダが公開フォルダであるのか、ご使用になられているサーバ会社にお尋ねください。



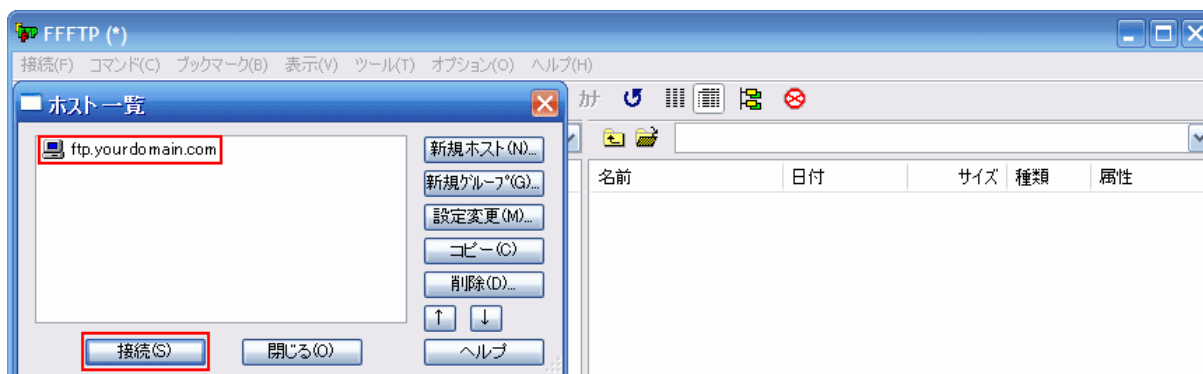
それではこの図を念頭に、具体的にファイルをサーバ側にアップロードしていきます。

■ STEP 1 : テンプレートセットをサーバにアップロード

ここでは、「準備 2」の過程で解凍してできたフォルダのうち、「Webroot_MT」の中の Movable Type 用テンプレートセットをサーバにアップロードします。

「準備 1」で既にインストール済みの FTP クライアントを立ち上げます。
(ここでは FFFTP を使用します。)

Movable Type をインストールしているドメインの FTP サーバに接続します。
ここでは、「ftp.yourdomain.com」を選択し、「接続」をクリックします。
(ここで使用するドメインは、「yourdomain.com」とします。)

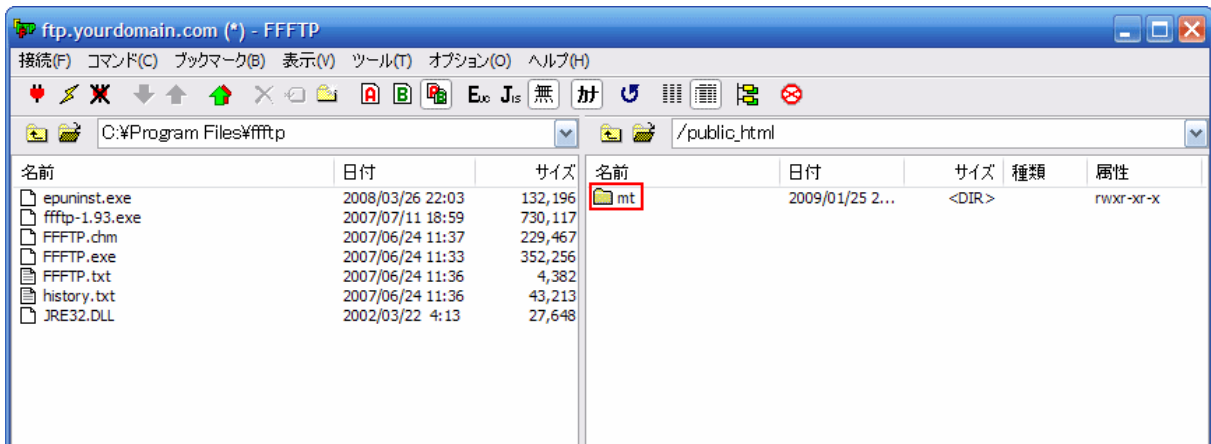


FTP サーバへ接続ができれば、事前にサーバ（右側パネル）にインストール済みである Movable Type のフォルダを開きます。

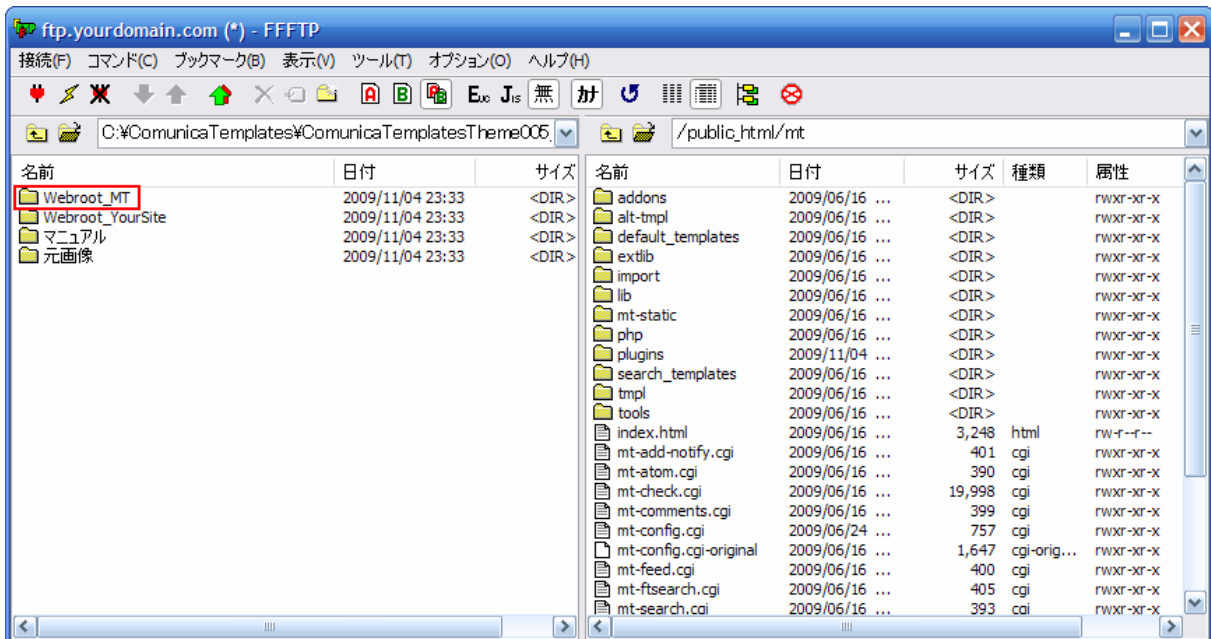
ここでは、公開フォルダである「public_html」直下の「mt」というフォルダに Movable Type がインストールされているものとします。

右側パネルにある「mt」というフォルダを開きます。

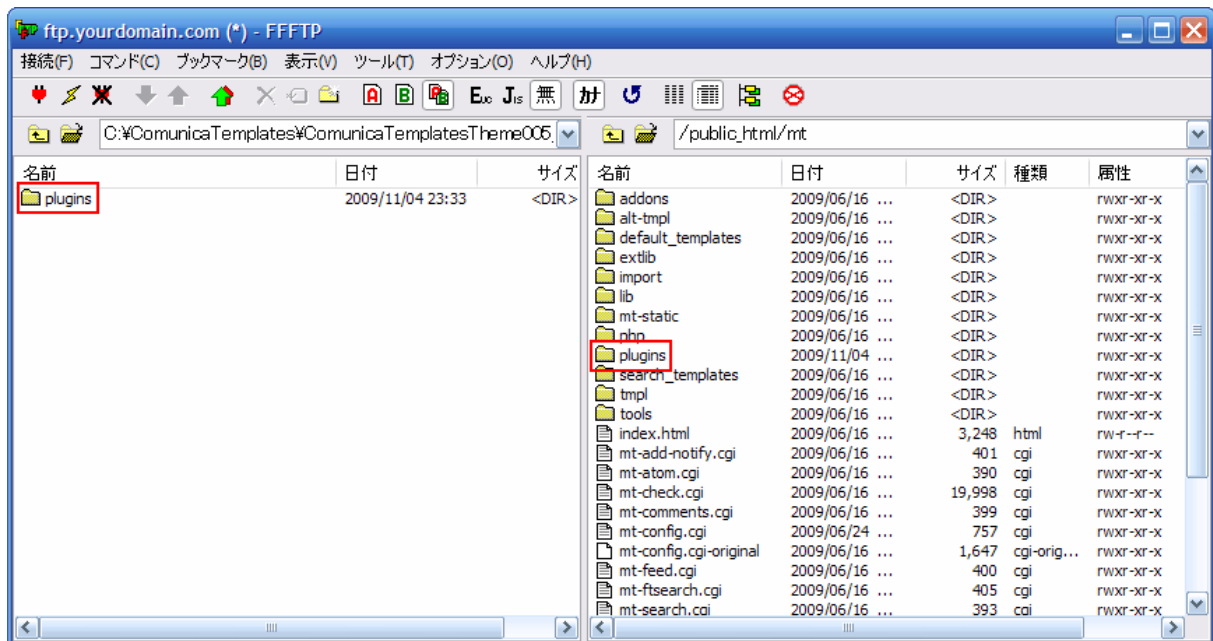
(サーバの関係で「cgi-bin」以下に作成されたフォルダに MovableType がインストールされている場合もありますので、各自のセッティングに合わせてステップを進めてください。)
左側パネルに表示されているのが自分のパソコン上にあるファイル群、右側パネルに表示されているのがサーバ上にあるファイル群です。



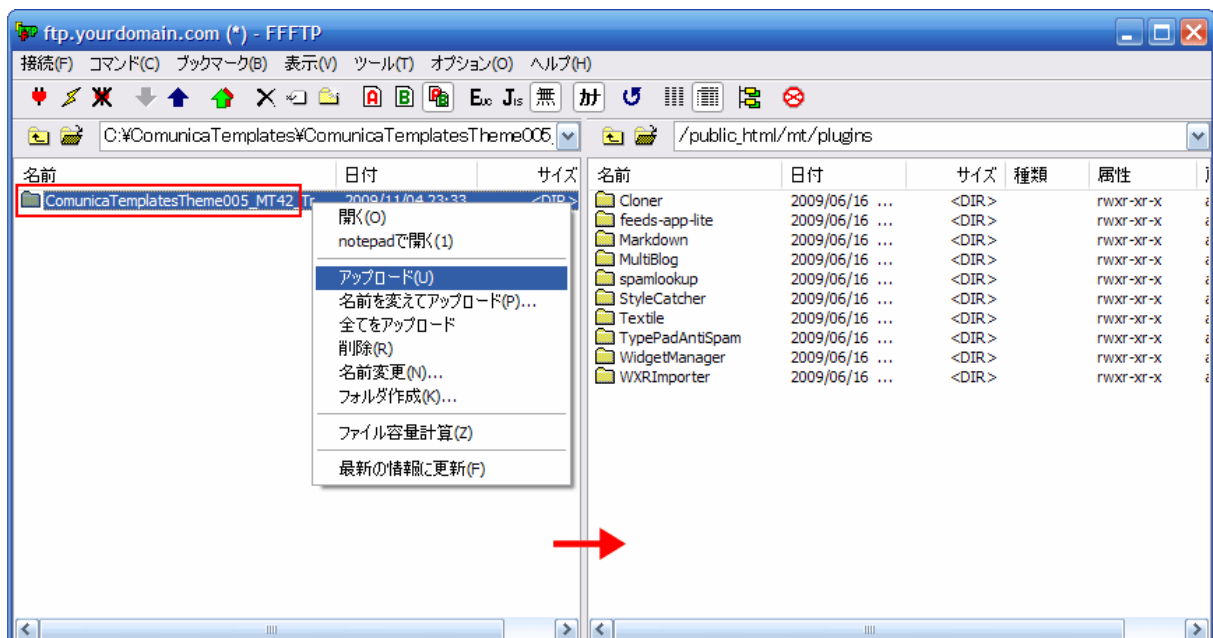
次に左側パネルにて、「準備 2」で解凍したテンプレートフォルダのうち、「Webroot_MT」フォルダを表示、これを開きます。



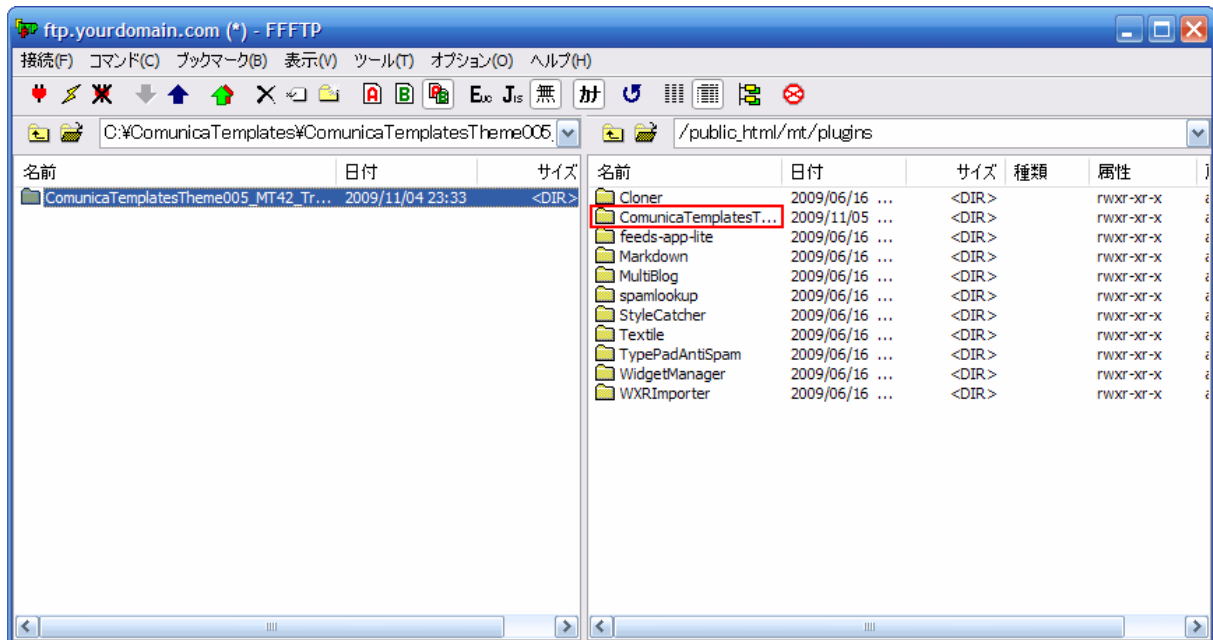
中には「plugins」というフォルダが入っています。この左側パネルにある「plugins」フォルダの中身を、右側パネルにあるサーバ側の同じく「plugins」フォルダの中にアップロードします。アップロードの前に、それぞれの「plugins」フォルダを開きます。



「plugins」フォルダを開くと、左側パネルには、ここでは「ComunicaTemplatesTheme005_MT42_TrialVer」という、Movable Type用のテンプレートセットが入ったフォルダが出てきます。これを、フォルダごと、右側パネルのサーバー側にある「plugins」フォルダの中にアップロードします。



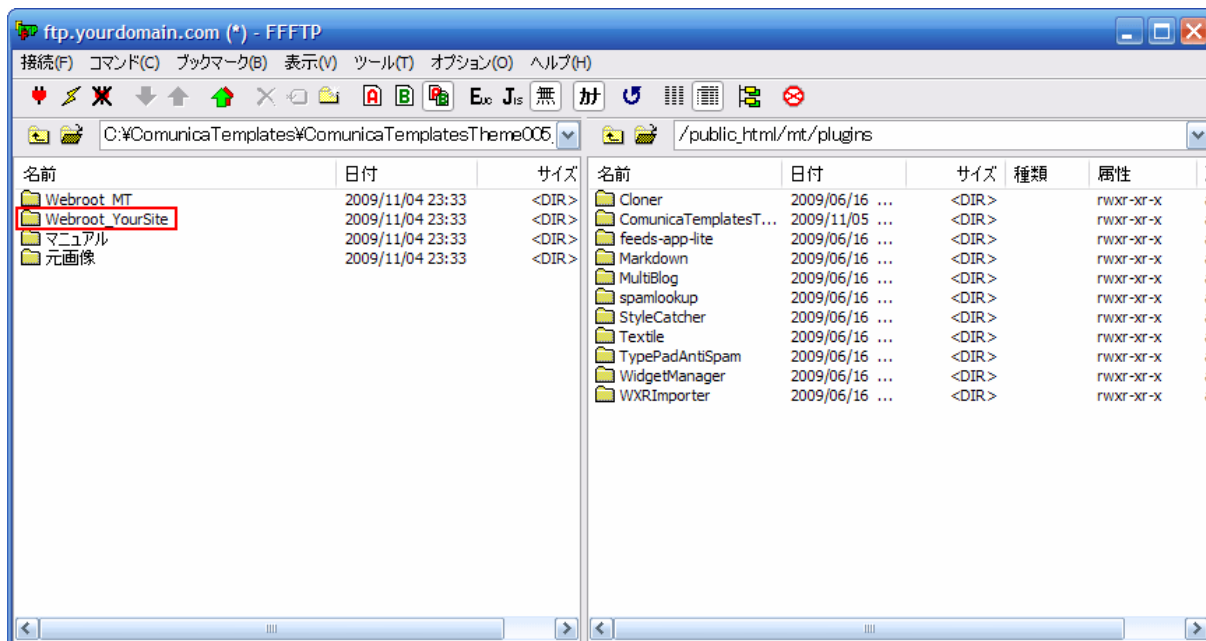
無事にアップロードが終わり、「ComunicaTemplatesTheme005_MT42_TrialVer」のフォルダが、サーバ側（右側パネル）にアップロードされました。



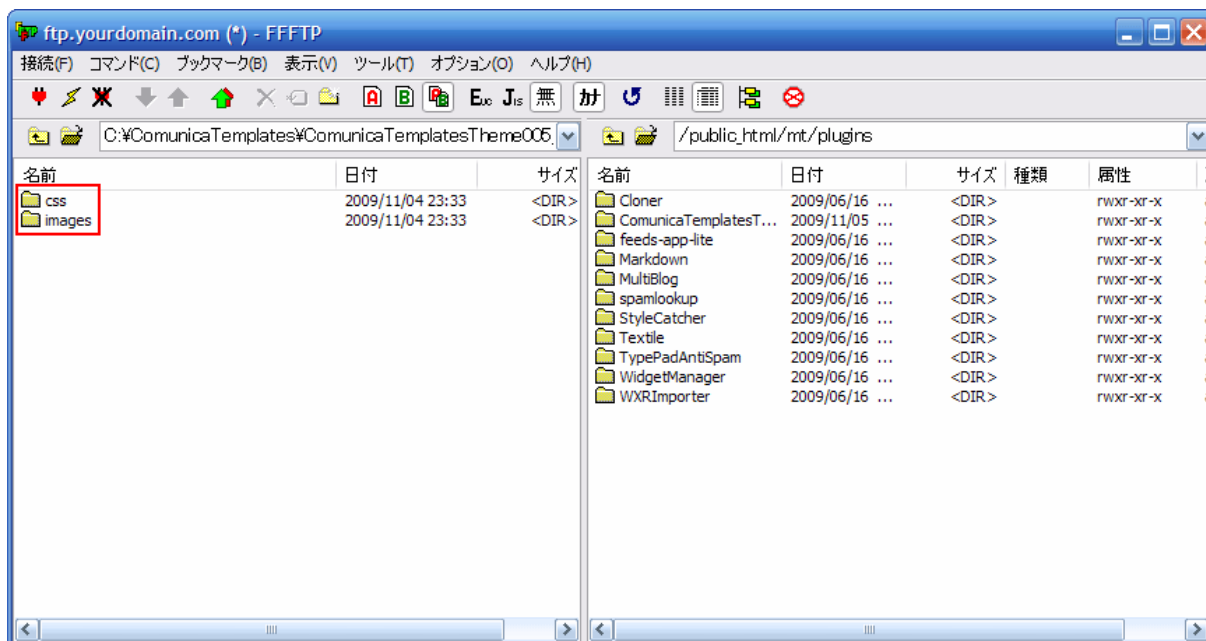
これで、Movable Type 用テンプレートセットのサーバへのアップロード作業は終了です。次は、CSS ファイル、画像ファイルをサーバにアップロードします。

■ STEP 2 : CSS ファイル、画像ファイルをサーバにアップロード

次に、「準備 2」で解凍された、もう片方の「Webroot_YourSite」フォルダ内のファイルをサーバにアップロードします。左側パネル（自分のパソコン上）にて、「Webroot_YourSite」フォルダを表示し、これを開きます。

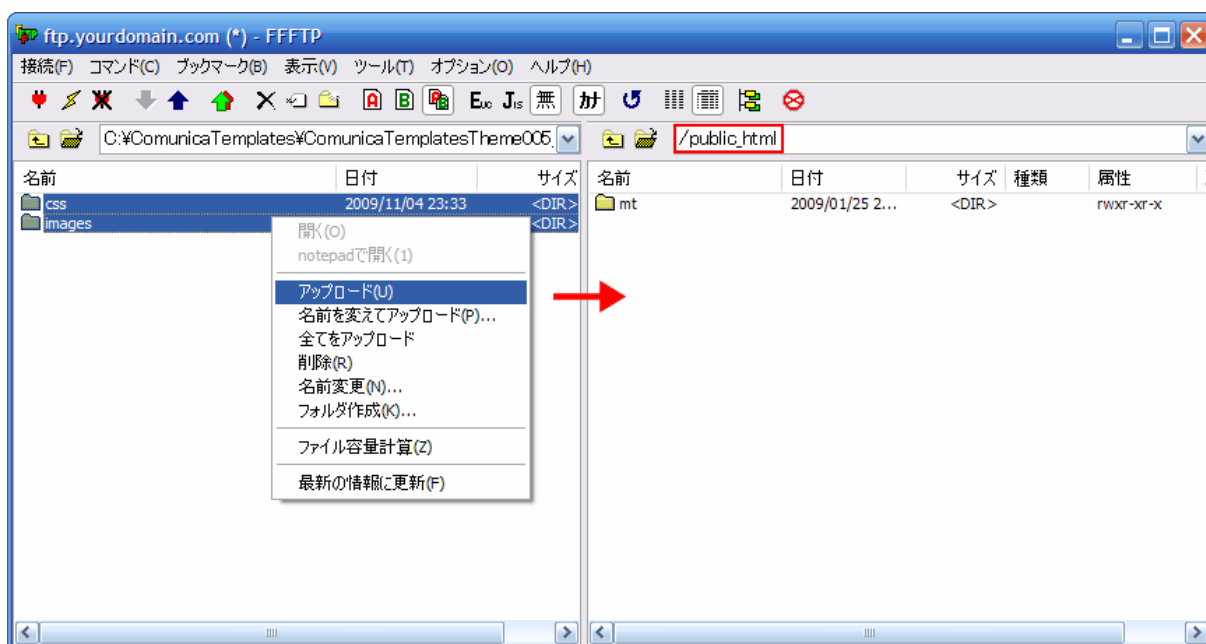


フォルダを開くと「css」フォルダと「images」フォルダが入っています。

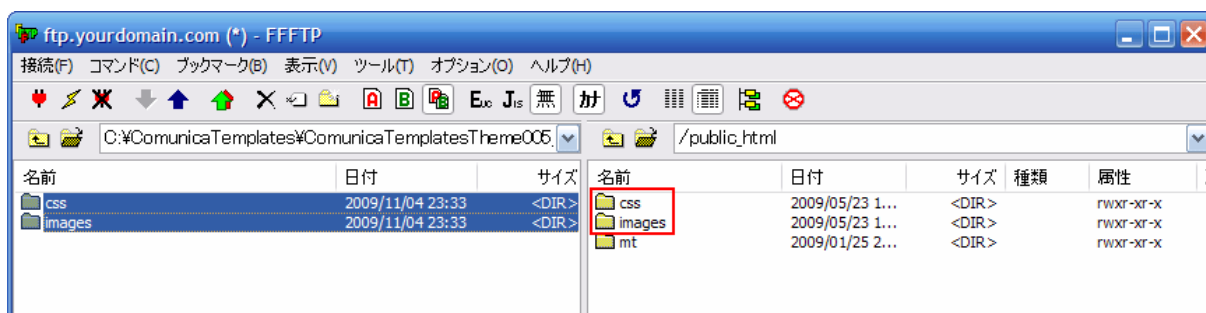


これらの「css」フォルダ、「images」フォルダを、サーバ側の公開フォルダ直下にアップロードします。ここでは、右側パネルの「public_html」フォルダが公開フォルダとなりますので、「public_html」以下に「css」フォルダ、「images」フォルダをそれぞれアップロードします。

(サーバ会社によっては、公開フォルダの指定が違う場合があるかもしれません。その場合は、どのフォルダが公開用フォルダであるかを、お使いのサーバ会社にお尋ねください。)



「css」フォルダと「images」フォルダが無事にアップロードされました。



これで FTP クライアントの使用は終了です。FTP の画面を閉じます。

次は、STEP 1 でアップロードしたテンプレートセットを、Movable Type 管理画面で設置していきます。

(2) Movable Type 管理画面でテンプレートセットを設置

ここでは、(1)のSTEP1でサーバにアップロードしたテンプレートセットをMovable Typeのテンプレートセット機能を利用して設置するまでを解説します。

■ STEP1：Movable Type のシステムにテンプレートセットが認識されているかを確認

既にインストール済みのMovable Typeにログインします。「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「サインイン」をクリックします。



The image shows the Movable Type login interface. At the top is the 'MOVABLE TYPE™' logo. Below it is the text 'サインイン' (Sign In). There are two input fields: 'ユーザー名' (Username) with 'user' entered, and 'パスワード' (Password) with masked characters. Below the password field is a checkbox for 'ログイン情報を記憶する' (Remember login information) and a link 'パスワードをお忘れですか?' (Forgot your password?). A blue 'サインイン' (Sign In) button is at the bottom right.

サインイン後、操作メニューの「システムメニュー」にマウスオーバーすると、ドロップダウンメニューが表示されますので、その中から「プラグイン」をクリックします。



「システムプラグイン設定」というタイトルのページが表示されますので、このページのプラグインの箇所に ComunicaTemplates のテンプレートセットが表示されていれば OK です。ここでは、「ComunicaTemplatesTheme005_MT42_TrialVer Template Set 1.0」がテンプレートセットとして利用可能になっています。



MQVABLE TYPE™

システムメニュー ▾

🏠 新規作成 ▾ 一覧 ▾ デザイン ▾ 設定 ▾ ツール ▾

システムプラグイン設定

プラグイン

<input type="checkbox"/> Blog Cloner 2.1	✔利用可能 (無効化)
<input type="checkbox"/> ComunicaTemplatesTheme005_MT42_TrialVer Template Set 1.0	✔利用可能 (無効化)

次は、このテンプレートセットをブログに設置していきます。

■ STEP 2 : ブログにテンプレートセットを設置

Movable Type をインストールした際に作成されている、最初のブログ（デフォルトブログ名：My First Blog、テンプレートセット：既定のブログ）を表示します。

前回の画面より、Movable Type のロゴの下にある「システムメニュー」をクリックすると、ブログ切り替えリストが出てきますので、この中から最初に作成したブログである「My First Blog」をクリックします。



「My First Blog」の管理画面に移りましたら、操作メニューの「デザイン」の中の「テンプレート」をクリックします。



「ブログのテンプレート」というタイトルのページに移動しますので、右側にあるメニューの「ブログのテンプレートを初期化」をクリックします。

新規作成 一覧 デザイン 設定 ツール

ブログのテンプレート

インデックステンプレート

インデックステンプレートを作成

公開 削除 アクション... Go

テンプレート名	出力ファイル名	公開	🔗
<input type="checkbox"/> JavaScript	mt.js	スタティック	⊙
<input type="checkbox"/> RSD	rsd.xml	スタティック	⊙
<input type="checkbox"/> アーカイブインデックス	archives.html	スタティック	⊙
<input type="checkbox"/> スタイルシート	styles.css	スタティック	⊙
<input type="checkbox"/> メインページ	index.html	スタティック	⊙
<input type="checkbox"/> 最新記事のフィード	atom.xml	スタティック	⊙

アーカイブテンプレート

アーカイブテンプレートを作成: [ブログ記事](#) [ブログ記事リスト](#) [ウェブページ](#)

公開 削除 アクション... Go

クイックフィルタ

- すべてのテンプレート
- インデックステンプレート
- システムテンプレート
- アーカイブテンプレート
- テンプレートモジュール

ショートカット

- バックアップされたテンプレート
- ブログ公開設定

アクション

- ブログのテンプレートを初期化**
- 公開プロファイルを設定
- フィードウィジェットを作成

「テンプレートセットの初期化」というページタイトルのポップアップウィンドウが現れますので、「新しいテンプレートセットを適用」のところをクリックし、その下のプルダウンメニューから、この場合は「ComunicaTemplatesTheme005_MT42_TrialVer」を選択します。そして、右下にある「次へ」ボタンをクリックします。

(プルダウンメニューの下にある「既存のテンプレートのバックアップを作成する」のところチェックを入れると、現在設定されているテンプレートのバックアップが作成されます。特にバックアップを必要としない場合は、チェックを外します。)

テンプレートセットの初期化

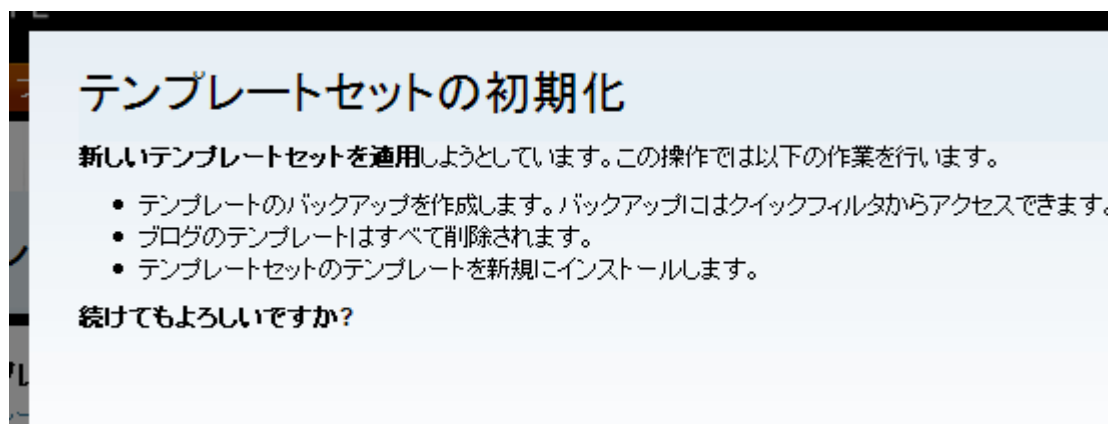
テンプレートセット「既定のブログ」の初期化
テンプレートを更新しますが、ユーザーが作成したテンプレートには影響しません。

新しいテンプレートセットを適用
ComunicaTemplatesTheme005_MT42_TrialVer

既存のテンプレートをすべて削除して、選択された新しいテンプレートセットを適用します。

既存のテンプレートのバックアップを作成する

次に、「新しいテンプレートセットを適用しようとしています。この操作では以下の作業を行います。〜〜 続けてもよろしいですか?」というメッセージが現れますので、右下にある「確認」ボタンをクリックします。



無事にテンプレートセットの初期化が済み、元の「ブログのテンプレート」というタイトルのページに戻ります。



次は、最後の「ブログを再構築」の段階です。

(3) ブログを再構築

Movable Type では、再構築をすることでサイト（HTML など）が作成されます。
まずは、再構築をする前に、そのブログが採るサイトの公開パスを確認しておきます。

■ STEP 1 : 公開パスの確認

前回の画面より、操作メニューの「設定」の中の「公開」をクリックします。



「公開設定」というタイトルのページが表示されますので、「公開パス」のところの「サイト URL」と「サイトパス」を確認します。

「(1) ファイルをサーバにアップロード」において、ホームページのドメインは、「yourdomain.com」、そして、サーバ側の公開フォルダは、ホームディレクトリ以下にある「public_html」としましたので、ここでは、サイト URL として、「http://www.yourdomain.com/」、サイトパスとして「/home/username/public_html」と、入力します。

サイトパスは、サーバにおける公開フォルダまでのディレクトリを「/」から始まる絶対パスで指定します。（サイトパスの場合、フォルダの後ろには「/」は付きませんのでご注意ください。）変更が終わりましたら、下方にある「変更を保存」ボタンをクリックします。

MQVABLE TYPE™ システムメニュー ▼

My First Blog ▼ ブログを書く

新規作成 ▼ 一覧 ▼ デザイン ▼ 設定 ▼ ツール ▼

全般
公開 ▶
ブログ記事
コメント
トラッキングバック
登録 / 認証
スパム
ウェブサービス
カスタムフィールド

公開設定

公開パス

サイトURL
▲警告: サイトURLを変更するとブログ内の全てのリンクがリンク切れとなること
公開するURLを入力してください。ファイル名(index.htmlなど)は含めないでください。

サイトパス
▲注: サイトパスを変更した場合はブログの再構築が必要です。

「ブログのアーカイブ設定を保存しました。」というメッセージが出てきますので、これで、「My First Blog」における「公開パス」の設定終了です。

MQVABLE TYPE™

My First Blog ▼ ブログを書く

新規作成 ▼ 一覧 ▼ デザイン ▼ 設定 ▼ ツール ▼

全般
公開 ▶
ブログ記事
コメント

✔ ブログのアーカイブ設定を保存しました。

公開設定

■ STEP 2 : 再構築

最後に「再構築」を行います。

前回の画面より、操作メニューにあります、「再構築」のボタンをクリックします。



「My First Blog の再構築」というポップアップウィンドウが現れます。そのウィンドウの中央部分にあるドロップダウンメニューより「すべてのファイル」を選択し、「再構築」ボタンをクリックします。



「完了」、「My First Blog を再構築しました。」と出ますので、これで再構築の終了です。「閉じる」ボタンをクリックします。



次に、「再構築」したサイトを確認します。元のページの操作メニューにある「サイトの表示」ボタンをクリックします。



「My First Blog」のサイトが表示されます。ここでは、まだ、カテゴリやコンテンツが作成されていない為、サイトの枠のみが表示されています。



これで、「My First Blog」に、Comunica Templates のテンプレートを無事に設置することができました。リンクなどをクリックして、サイトが正しく動作するかご確認ください。

また、「サイトの構築方法」のドキュメントの方もご参照ください。
お疲れ様でした。